

四日市港津波避難マップ

このマップは、「理論上最大クラスの南海トラフ地震」発生後の浸水深30cmの津波が到達する時間を示しています。

また、右のマップ【霞ヶ浦地区拡大図、四日市地区拡大図】は、四日市港を訪れた人などが、津波から避難する方向を示しています。

凡例

— 津波避難目標ライン
内陸部の海拔5mの地点を結んだライン

— 浸水想定ライン

00 津波避難ビル

指定避難所

指定避難所（津波災害時には使用できません）

★ 一時避難場所

浸水深30cmの津波が到達する時間

- 5分未満から10分
- 10分から20分
- 20分から30分
- 30分から60分
- 60分から90分
- 90分から120分
- 120分以上

津波が到達するが、浸水深30cm未満

※到達時間については、地震発生により、四日市市への津波の到達時間は70数分後の想定となっています。しかし、地震の揺れ等により堤防の機能低下が予想されるため、四日市市に津波が到達する前に海水等が入ってくる可能性も考慮しております。

霞ヶ浦地区

富洲原地区市民センター

富洲原小学校

四日市港 ポートビル

霞ヶ浦公園

ゆめくじら

シドニー港公園

四日市ドーム

橋北中学校

橋北小学校

橋北交流会館

橋北地区市民センター

中央小学校

総合会館

本町プラザ

なやプラザ

四日市地区

港内遊覧船乗着場所

千歳公園

みなと公園

四日市港
港湾合同庁舎

三浜文化会館

塩浜地区市民センター

津波避難時に注意すべき四日市港の特徴

- 1 内陸と橋でつながっており、津波から避難するルートが限定されるおそれがあります。
- 2 埋立地が多く、地震により液状化が発生した場合は、避難に時間がかかるおそれがあります。
- 3 倉庫などの大きな建築物が多く、地震によって倒壊するおそれがあります。
- 4 多くのコンテナや自動車等が置いてあり、津波とともに流されてくるおそれがあります。
- 5 危険物を取り扱っている企業が多くあり、地震により危険物が流出したり、火災が発生するおそれがあります

津波から避難する際の 避難先の優先順位

1 津波避難目標ラインを目指しましょう。



2 津波避難目標ラインまで避難する時間がない場合は、**四日市市が指定する津波避難ビル(①～⑩3)**を目指しましょう。



3 四日市市が指定する津波避難ビルまで避難できない場合は、**四日市港ポートビル**など港内の一時避難場所(★マーク)を目指しましょう。



この津波浸水予測図は、「四日市市津波避難マップ」(平成29年12月一部改訂版)を引用しています。

霞ヶ浦地区拡大図

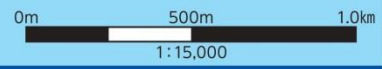


四日市港
ポートビル

【凡例】
■ 国道
■ その他の道路
← 避難方向

平成 29 年 12 月現在

No.	津波避難ビル	階数
3	有限会社前川	3階
16	富田小学校	4階
17	富田中学校	4階
19	県立四日市高等学校	3階
20	県立北星高等学校	3階
21	北勢国道事務所	事務棟3階 宿舍5階
22	ラ・プリマカーサ	6階
23	防災教育センター(北消防署)	屋上(2階)
28	スプリングセン	3階
36	かすみのみ	4階
37	カインズホーム四日市店	屋上(2階)
★	四日市港ポートビル (港内一時避難場所)	14階



四日市地区拡大図



四日市
港湾合同庁舎

【凡例】
■ 国道
■ その他の道路
← 避難方向

平成 29 年 12 月現在

No.	津波避難ビル	階数
49	住友電装株式会社	A棟5階 食堂棟3階
51	株式会社大久保商会	3階
52	四日市港湾合同庁舎	4階
★	四日市港湾合同庁舎	

